

エコアクション21

環境経営レポート

2024年度

対象期間：2024年1月～12月



報告日 2025年2月20日

甘糟化学産業株式会社

環境経営方針

1. 私たちは、深刻化する地球温暖化や今後予想される地下資源の枯渇への対応が人類共通の重要課題との認識にたち、SDGs（持続可能な開発目標）の理念に共感し、化成品製造の事業活動における環境負荷に対して低減を図るために、環境マネジメントシステム（エコアクション21）を維持し、全社一丸となって自主的・積極的に、環境保全活動に取り組みます。

2. 私たちは、全員一致でお客様満足（お客様重視）を第一に、品質マネジメントシステムの規格要求事項に従った品質マネジメントシステムを構築、維持し、安定した安全な、高品質の製品を社会に提供し、社会貢献を致すと共に、従業員の幸せを追求します。

<環境保全への行動指針>

1. 具体的に次のことに取り組みます。

- ① 電力・燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量の削減
- ② 廃棄物の削減の推進
- ③ 水資源の節水
- ④ 化学物質の適正管理と環境への排出量の削減
- ⑤ 製品及びサービスに関する環境配慮の推進

これらについて環境経営目標・環境経営計画を定め、定期的に見直しを行い、継続的な改善に努めます。

2. 環境関連法規や当社が約束したことを遵守します。

3. 地域と共存できる企業活動の推進に努めます。

4. 環境への取り組みを全従業員に周知徹底すると共に環境経営レポートとしてとりまとめ公表します。

制定日：2018 年 11 月 20 日

甘糟化学産業株式会社

代表取締役社長

甘糟 久美子

■ 事業所の概要

(1) 事業者名称及び代表者

甘糟化学産業株式会社
代表取締役社長 甘糟 久美子

(2) 所在地

本社 〒101-0037 東京都千代田区神田西福田町3番地 RBM神田ビル5階
大阪支店 〒541-0044 大阪府大阪市中央区伏見町4-4-10 新伏見町ビル7階
名古屋支店 〒460-0002 愛知県名古屋市中区丸の内2-8-28
神戸工場 〒651-2228 兵庫県神戸市西区見津が丘5-2-14
千葉工場 〒270-0203 千葉県野田市関宿元町423
北海道支店 〒047-0261 北海道小樽市銭函3-263-16 (銭函製造所を含む)

(3) 環境管理責任者氏名及び連絡先

環境管理責任者	取締役社長室長	甘糟 淳一	TEL:03-6632-3005	FAX:03-3256-8580
推進事務局	本社総務部課長	矢口 正之	TEL:03-6632-3005	FAX:03-3256-8580

(4) 事業内容

化学工業薬品等製造販売

(5) 事業規模 (2024年12月末日現在)

資本金 100 百万円
総売上高 10,362 百万円
総従業員数 102 人

認証・登録の対象事業所の規模

	従業員数	製品生産量	床面積
本社・東京本店	33 人	t	440 m ²
大阪支店	16 人	t	332 m ²
名古屋支店	4 人	t	63 m ²
神戸工場	17 人	2,773 t	4,000 m ²
千葉工場	23 人	6,180 t	3,480 m ²
北海道支店	9 人	1,990 t	681 m ²
合計	102 人	10,943 t	8,996 m ²

(6) 事業年度

1 月 ~ 12 月

■ 認証・登録の対象組織・活動

(1) 登録組織名

甘糟化学産業株式会社

(2) 活動

化学工業薬品等製造販売

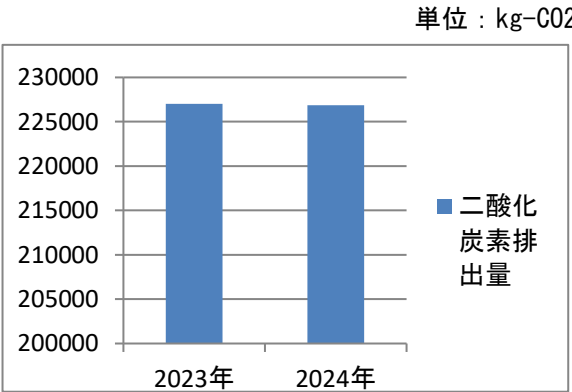
(3) 社内体制・組織

別紙の通り

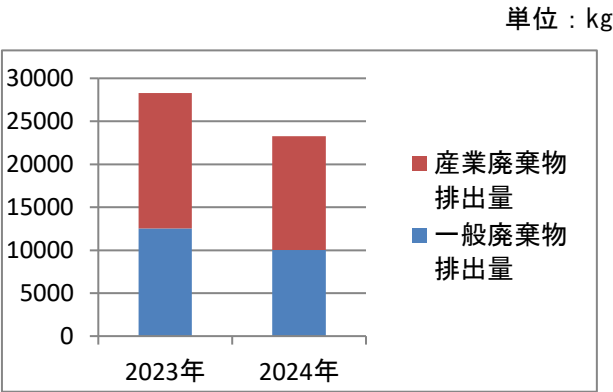
■ 主な環境負荷の実績 【対象事業所合計】

項目	単位	2023年	2024年
二酸化炭素排出量*	kg-CO ₂	227,011	226,856
一般廃棄物排出量	kg	12,514	10,004
産業廃棄物排出量	kg	15,787	13,274
水排水量	m ³	6,172	6,276

- ◆ 2023年度を基準年度として以降6事業所の実績値を合算
- ◆ 電力に使用する二酸化炭素排出係数：各事業所にて使用している電力会社の2022年度の排出係数
 - 本社・東京本店 □ 千葉工場…東京電力 0.443
 - 大阪支店 □ 神戸工場…関西電力 0.351 □ 名古屋支店…中部電力0.379
 - 銭函製造所…北海道電力 0.55



二酸化炭素排出量の変遷



廃棄物排出量の変遷

■ 環境目標及びその実績 【対象事業所合計】

	単位	基準年度 2023年	2024年度			下段：基準年度比	
			目標	実績	目標達成率	2025年度 目標	2026年度 目標
二酸化炭素排出量の削減	kg-CO ₂	227,011	226,383 99.7%	226,856 99.9%	99.8%	224,714 99.1%	224,123 98.8%
廃棄物の削減	Kg	28,301	28,048 99.1%	23,278 82.3%	120.5%	27,935 120.0%	27,807 119.5%
水使用量の削減	m ³	6,172	6,154 99.7%	6,276 101.7%	98.1%	6,125 97.6%	6,096 97.1%
法的規制対象化学物質使用量の管理	Kg	652,977	—	659,898	—	—	—
環境への法規制対象化学物質排出率の削減	%	0.42	0.42 100.0%	0.43 102.4%	96.2%	0.42 97.7%	0.42 97.7%
環境配慮製品の開発・販売促進	Kg	554,048	569,388 102.8%	584,687 105.5%	102.7%	574,929 98.3%	580,469 99.3%

- ◆ ここでいう法的規制対象化学物質とはP R T R対象物質のこと
- ◆ 弊社はP R T R対象物質そのもの及びP R T R対象物質を含有する製品を製造販売しているため、その削減目標は設定していない
- ◆ 環境への法的規制対象化学物質排出率 = 製造ロス中のP R T R対象物質の量 ÷ P R T R対象物質使用量

■ 環境活動の取り組み計画と評価及び次年度の評価

(1) 二酸化炭素排出量の削減

◇電力の削減

①取り組み計画

★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	北海道支店
電力の削減	★	★	★	★	★	★
1. 省エネ目標の説明	★	★	★	★	★	★
2. 不要照明の消灯	★	★	★	★	★	★
3. O A機器の省電力設定	★	★	★	★	★	★
4. エア配管の漏れの修理				★	★	★
5. 冷房 28℃、暖房 20℃	★	★	★	★	★	★
6. 設備の空運転防止				★	★	
7. すだれ、ブラインドを設置し室温上昇防止による冷房節	★	★	★	★	★	★
8. クールビズ・ウォームビズ運動の実施	★	★	★	★	★	★
9. 照明器具の定期的な清掃、交換	★	★	★	★	★	★
10. 設備の入替・更新時には省エネルギー型機を導入					★	

◆ 北海道支店には銭函製造所の取り組み計画を含む

②達成状況と目標

下段：基準年度比

	対象事業所	単位	基準年度 2023年	2024年度				2025年度	2026年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
電力の削減	本社・東京本店	kg-CO ₂	22,356	22,244 99.5%	23,214 103.8%	95.8%	△	23,098 99.5%	22,020 94.9%
	大阪支店	kg-CO ₂	804	803 99.88%	5,678 706.2%	14.1%	—	5,672 99.9%	5,676 100.0%
	名古屋支店	kg-CO ₂	2,405	2,381 99.0%	3,207 133.3%	74.2%	—	3,207 100.0%	3,207 100.0%
	神戸工場	kg-CO ₂	35,338	34,631 98.0%	33,950 96.1%	102.0%	○	34,277 101.0%	33,924 99.9%
	千葉工場	kg-CO ₂	95,798	95,750 99.9%	96,643 100.9%	99.1%	△	95,741 99.1%	95,731 99.1%
	北海道支店	kg-CO ₂	16,910	16,572 98.0%	16,891 99.9%	98.1%	△	16,903 100.1%	16,903 100.07%
	対象事業所 合計	kg-CO ₂	173,611	172,381 99.3%	179,583 103.4%	96.0%	△	178,898 103.0%	177,461 102.2%

◆ 基準年度：2023年

◆ 電力に使用する二酸化炭素排出係数：各事業所にて使用している電力会社の2022年度の排出係数

□本社・東京本店 □千葉工場…東京電力 0.443

□大阪支店 □神戸工場…関西電力 0.351 □名古屋支店…中部電力0.379

□北海道支店…北海道電力 0.550

◆達成状況： 110%以上…◎ 100～110%…○ 100～85%…△ 85%以下…×

※大阪支店・名古屋支店は移転により評価基準が変動したため評価は控える事とする。

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

電力の削減
対象事業所の合計達成率：96.0%
達成状況：△
全社ベースでは未達成。神戸のみ目標達成。 2024年については猛暑によるエアコンの使用増が大きな要因と考える。 尚、大阪支店は5月新事務所への移転によりエアコンの動力が都市ガスから電気に変化し、名古屋支店は2月より仮事務所へ移転した。共に旧事務所より事務所面積が増えたためエアコンに使用する電気も大幅な使用増となった。

■ 環境活動の取り組み計画と評価及び次年度の評価

◇ガソリンの削減

①取り組み計画 ★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	北海道支店
５．フォークリフトのエコドライブの実施					★	★
６．社用車のエコドライブの実施	★	★	★			

◆ 北海道支店には錢函製造所の取り組み計画を含む

②達成状況と目標 ◆ 基準年度： 2023年 下段：基準年度比

	対象事業所	単位	基準年度 2023年	2024年度				2025年度	2026年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
ガソリンの削減	本社・東京本店	kg-CO2	6,350	6,318 99.5%	6,522 102.7%	96.9%	△	6,490 99.5%	6,255 95.9%
	大阪支店	kg-CO2	2,460	3,689 150.0%	2,126 86.4%	173.5%	—	2,551 120.0%	2,551 120.0%
	名古屋支店	kg-CO2	2,628	2,549 97.0%	4,659 177.3%	54.7%	—	4,650 99.8%	4,650 99.8%
	千葉工場	kg-CO2	8,915	8,911 99.96%	8,637 96.9%	103.2%	○	8,910 103.16%	8,909 103.15%
	北海道支店	kg-CO2	3,696	3,548 96.0%	2,466 66.7%	143.9%	◎	3,694 149.8%	3,694 149.80%
	対象事業所合計	kg-CO2	24,049	25,015 104.0%	24,410 101.5%	102.5%	○	26,295 107.7%	26,059 106.8%

※大阪支店・名古屋支店は移転により評価基準が変動したため評価は控える事とする。

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

ガソリンの削減
対象事業所の合計達成率：102.5%
達成状況：△
全社ベースでは未達成。北海道、大阪、千葉が達成。
北海道はガソリン価格の上昇に伴い遠距離の車利用を控えた結果大幅に使用量が減った。
全体的には2023年5月のコロナ5類移行後、営業活動が盛んになり営業車の使用が増えたためと思われる。

◇軽油の削減

①取り組み計画 ★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	北海道支店
５．フォークリフトのエコドライブの実施				★		★

◆ 北海道支店には錢函製造所の取り組み計画を含む

②達成状況と目標 ◆ 基準年度： 2023年 下段：基準年度比

	対象事業所	単位	基準年度 2023年	2024年度				2025年度	2026年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
軽油の削減	神戸工場	kg-CO2	2,992	2,962 99.0%	3,307 110.5%	89.6%	△	2,932 88.7%	2,902 87.8%
	北海道支店	kg-CO2	4,199	4,031 96.0%	3,149 75.0%	128.0%	◎	4,197 133.3%	4,197 133.3%
	対象事業所合計	kg-CO2	7,191	6,993 97.2%	6,456 89.8%	108.3%	○	7,129 99.1%	7,099 98.7%

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

軽油の削減
対象事業所の合計達成率：108.3%
達成状況：○
各工場共に軽油の使用量はフォークリフトの使用量に比例しています。錢函製造所は128%とフォークリフトの使用時間が減った為達成。神戸工場は出荷量の増加に併せてフォークリフトの使用時間も増えた為、未達成。事業の拡大する上では、未達成が好ましいが、今後は電気フォークリフトの導入も検討。

◇灯油の削減

①取り組み計画 ★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	北海道支店
ボイラーの適切な使用・管理					★	
暖房 20℃						★

◆ 北海道支店には錢函製造所の取り組み計画を含む

②達成状況と目標 ◆ 基準年度： 2023年 下段：基準年度比

	対象事業所	単位	基準年度 2023年	2024年度				2025年度	2026年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
	千葉工場	kg-CO2	944	944 100.00%	937 99.3%	100.7%	○	944 100.75%	944 100.75%
	北海道支店	kg-CO2	13,656	13,110 96.0%	13,185 96.6%	99.4%	△	13,650 103.5%	13,649 103.52%
	対象事業所合計	kg-CO2	14,600	14,054 96.3%	14,122 96.7%	99.5%	△	14,594 103.34%	14,593 103.34%

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

灯油の削減
対象事業所の合計達成率：99.5%
達成状況：△
千葉工場は達成。錢函製造所は前年より製造量は107%増えたが使用量は96%と工夫の成果が出た。

◇都市ガスの削減

①取り組み計画★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	北海道支店
5. 冷房 28℃、暖房 20℃		★				

◆ 北海道支店には銭函製造所の取り組み計画を含む

②達成状況と目標◆ 基準年度：2023年下段：基準年度比

	対象事業所	単位	基準年度 2023年	2024年度				2025年度	2026年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
都市ガスの削減	大阪支店	kg-CO2	7,562	7,940 105.0%	2,288 30.3%	347.0%	—	0 0.0%	0 0.0%
	対象事業所合計	kg-CO2	7,562	7,940 105.0%	2,288 30.3%	347.0%	—	0 0.0%	0 0.0%

※大阪支店・名古屋支店は移転により評価基準が変動したため評価は控える事とする。

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

都市ガスの削減
対象事業所の合計達成率：347.0%
達成状況：◎
大阪支店は5月より移転の為都市ガスの利用が無くなった。

○二酸化炭素排出量の削減

◆ 基準年度：2023年下段：基準年度比

	対象事業所	単位	基準年度 2023年	2024年度				2025年度	2026年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
本社・東京本店の 二酸化炭素排出量	kg-CO2	28,706	28,562 99.5%	29,736 103.6%	96.1%	△	29,588 99.5%	28,275 95.1%	
大阪支店の 二酸化炭素排出量	kg-CO2	10,826	12,432 114.8%	10,091 93.2%	123.2%	—	8,223 81.5%	8,227 81.5%	
名古屋支店の 二酸化炭素排出量	kg-CO2	5,033	4,930 98.0%	7,866 156.3%	62.7%	—	7,857 99.9%	7,857 99.9%	
神戸工場の 二酸化炭素排出量	kg-CO2	38,330	37,593 98.1%	37,257 97.2%	100.9%	○	37,209 99.9%	36,826 98.8%	
千葉工場の 二酸化炭素排出量	kg-CO2	105,657	105,606 100.0%	106,217 100.5%	99.4%	△	105,595 99.4%	105,584 99.4%	
北海道支店の 二酸化炭素排出量	kg-CO2	38,461	37,259 96.9%	35,690 92.8%	104.4%	○	38,444 107.7%	38,443 107.7%	
対象事業所の 二酸化炭素排出量	kg-CO2	227,013	226,382 99.7%	226,856 99.9%	99.8%	△	226,916 100.0%	225,212 99.3%	

◆達成状況： 110%以上…◎ 100～110%…○ 100～85%…△ 85%以下…×

※大阪支店・名古屋支店は移転により評価基準が変動したため評価は控える事とする。

環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

二酸化炭素排出量の削減
対象事業所のの合計達成率 99.8% 達成状況：△
コロナによる行動制限も無くなり、営業活動の活発化によりガソリンの使用量は増え、また猛暑による空調機器の使用増加による電力使用量の増加により全社目標は未達成となる。引き続き今後もkg-CO2の削減意識を持って全社で取り組んでいきたい。

(2) 廃棄物の削減

①取り組み計画★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	北海道支店
一般廃棄物の削減	★	★	★	★	★	★
1. 材質、形状による分別回収	★	★	★	★	★	★
2. 使用済み書類や封筒の再利用及びポスター等の裏紙の利用	★	★	★	★	★	★
3. 文書の電子化に取り組む	★	★	★	★	★	★
4. ペーパーレス化					★	
5. 2アップ印刷や両面を活用した印刷及びコピーの徹底					★	
6. 段ボールの有効利用					★	
産業廃棄物の削減		★		★	★	★
1. 材質、形状による分別回収		★		★	★	★
2. 保管や物流での破損缶の削減		★			★	★
3. 容器、フィルム等工程ロスの削減		★		★	★	
4. 原料用容器の大型化					★	★
5. 廃油、廃ブラの削減目標を説明				★		
6. 規格外アルコール製品を燃料等に転換利用				★		
7. 回収原料の品質を選別して蒸留				★		
8. リサイクル先の開拓				★		
9. 再使用又はリサイクルしやすい物を優先的に使用する					★	
10. マニフェストをもとに廃棄物の適正な処理を確認する					★	

◆ 北海道支店には銭函製造所の取り組み計画を含む

②達成状況と目標◆ 基準年度：2023年下段：基準年度比

	対象事業所	単位	基準年度 2023年	2024年度				2025年度	2026年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
一般廃棄物の削減	本社・東京本店	Kg	4,297	4,276 99.5%	3,348 77.9%	127.7%	◎	3,331 99.5%	3,315 99.0%
	大阪支店	Kg	758	758 100.00%	2,013 265.6%	37.7%	-	2,012 99.95%	2,012 99.95%
	名古屋支店	Kg	187	172 92.0%	97 51.9%	177.3%	-	170 175.3%	168 173.2%
	神戸工場	Kg	1,701	1,667 98.0%	1,277 75.1%	130.5%	◎	1,650 129.2%	1,633 127.9%
	千葉工場	Kg	4,376	4,374 99.95%	1,965 44.9%	222.6%	◎	4,373 222.54%	4,373 222.54%
	北海道支店	Kg	1,195	1,183 99.0%	1,305 109.2%	90.7%	△	1,171 89.7%	1,159 88.8%
	対象事業所合計	Kg	12,514	12,430 99.3%	10,005 80.0%	124.2%	◎	12,707 127.0%	12,660 126.5%
産業廃棄物の削減	本社・東京本店	Kg	-	-	-	-	-	-	-
	大阪支店	Kg	109	109 100.00%	74 67.9%	147.3%	-	74 100.00%	74 100.00%
	名古屋支店	Kg	-	-	-	-	-	-	-
	神戸工場	Kg	7,419	7,271 98.0%	4,022 54.2%	180.8%	◎	7,196 178.9%	7,122 177.1%
	千葉工場	Kg	6,684	6,680 99.94%	7,498 112.2%	89.1%	△	6,680 89.09%	6,679 89.08%
	北海道支店	Kg	1,575	1,559 99.0%	1,680 106.7%	92.8%	△	1,574 93.7%	1,574 93.7%
	対象事業所合計	Kg	15,787	15,618 98.9%	13,274 84.1%	117.7%	◎	15,524 117.0%	15,449 116.4%
本社・東京本店の廃棄物量		Kg	4,297	4,276 99.5%	3,348 77.9%	127.7%	◎	3,331 99.5%	3,315 99.0%
大阪支店の廃棄物量		Kg	867	867 100.0%	2,087 240.7%	41.5%	-	2,086 100.0%	2,086 100.0%
名古屋支店の廃棄物量		Kg	187	172 92.0%	97 51.9%	177.3%	-	170 175.3%	168 173.2%
神戸工場の廃棄物量		Kg	9,120	8,938 98.0%	5,299 58.1%	168.7%	◎	8,846 166.9%	8,755 165.2%
千葉工場の廃棄物量		Kg	11,060	11,054 99.9%	9,463 85.6%	116.8%	◎	11,053 116.8%	11,052 116.8%
北海道支店の廃棄物量		Kg	2,770	2,742 99.0%	2,985 107.8%	91.9%	△	2,745 92.0%	2,733 91.6%
対象事業所の総廃棄物量		Kg	28,301	28,048 99.1%	23,279 82.3%	120.5%	◎	28,231 121.3%	28,109 120.7%

◆ 北海道支店には銭函製造所の取り組み計画を含む

◆達成状況： 110%以上…◎ 100～110%…○ 100～85%…△ 85%以下…×

※大阪支店・名古屋支店は移転により評価基準が変動したため評価は控える事とする。

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

一般廃棄物の削減
対象事業所の合計達成率：124.2% 達成状況：◎ ペーパーレスに取り組んだ事業所が多く各事業所とも大きく目標達成した。特に千葉工場（223%）神戸工場（131%）と大幅に一般廃棄物は減少している。大阪支店は移転に伴い書類の大量処分があった。各事業所とも引き続きペーパーレスへの対応に努力していく。

産業廃棄物の削減
対象事業所の合計達成率：117.7% 達成状況：◎ 全社では大幅達成した。特に神戸工場は目標達成率181%と大幅削減となった。大阪支店も移転を機に社内からのごみの発生を徹底的に減らし目標達成率147%と大幅削減となった。

(3) 総排水量の削減

①取り組み計画

★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	北海道支店
水道水・工業用水の節水	★	★	★	★	★	★
1. 水道水使用量削減の説明	★	★	★	★	★	★
2. 節水のよびかけと実施	★	★	★	★	★	★
3. 水栓のこまめな開閉	★	★	★	★	★	★
6. 水道配管からの漏水の定期的な点検	★	★	★	★	★	★
4. 元バルブを少し閉める				★		
5. 園芸用水、散水を水道水から工業用水に切り替える				★		
7. 工業用水の節水				★		

◆ 北海道支店には銭函製造所の取り組み計画を含む

②達成状況と目標

◆ 基準年度：2023年

下段：基準年度比

	対象事業所	単位	基準年度 2023年	2024年度				2025年度	2026年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
水道水・工業用水の節水	本社・東京本店	m ³		—	—	—	—	—	—
	大阪支店	m ³	182	181 99.5%	57 31.3%	317.5%	—	0 0.0%	0 0.0%
	名古屋支店	m ³	81	93 114.8%	59 72.8%	157.6%	—	92 155.9%	92 155.9%
	神戸工場	m ³	1,838	1,819 99.0%	1,774 96.5%	102.5%	○	1,801 101.5%	1,783 100.5%
	千葉工場	m ³	3,149	3,147 99.94%	3,373 107.1%	93.3%	△	3,147 93.3%	3,147 93.3%
	北海道支店	m ³	922	913 99.0%	1,013 109.9%	90.1%	△	1,015 100.2%	1,006 99.3%
対象事業所の総節水量		m ³	6,171	6,153 99.7%	6,275 101.7%	98.1%	△	6,055 96.5%	6,028 96.1%

◆ 本社・東京本店は2014年3月新事務所移転により使用量が把握できなくなったため除外

◆ 北海道支店には銭函製造所の取り組み計画を含む

◆ 達成状況： 110%以上…◎ 100～110%…○ 100～85%…△ 85%以下…×

※大阪支店・名古屋支店は移転により評価基準が変動したため評価は控える事とする。

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

水道水・工業用水の節水
対象事業所の合計達成率：98.1%
達成状況：△
神戸工場は102.5%と目標達成。千葉工場は精製水の使用が増え目標達成比93.3%となる。尚、大阪支店はテナントビルへの移転の為5月から、名古屋支店は建て替えの為テナントビルへの移転により2月から水道使用量の計測が不可能になった。

(4) 化学物質使用量管理及び環境への排出率の削減

①取り組み計画

★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	銭函製造所
法的規制対象化学物質の適正管理				★	★	
1. P R T R対象物質の管理				★	★	
2. 自治体条例対象物質の管理				★	★	
環境への排出率の削減				★	★	
1. 品質管理、工程管理を徹底し不良品の発生を削減する				★		★
2. 溶剤配管タンクの液漏れ点検を実施する				★		
3. 洗浄溶剤を入れた容器は蓋をして蒸発を抑制する				★		
4. 混合施設において活性炭により化学物質の大気への排出を抑制する				★		
5. 燃料油や溶剤等の揮発防止に取り組む					★	
6. 受け入れロス、充填ロスの削減					★	★
7. 設備機器の日常点検の実施					★	★
8. タンクライン洗浄液の再利用					★	
9. P R T Rに基づいて取り組む					★	

②達成状況と目標

法的規制対象化学物質の適正管理

	対象事業所	単位	基準年度	2024年実績
P R T R対象物質使用量	神戸工場	Kg	146,281	173,500
	千葉工場	Kg	506,696	486,398
	北海道支店	Kg	—	—
	対象事業所合計	Kg	652,977	659,898

- ◆ 基準年度：2022年
- ◆ 北海道支店（銭函製造所を含む）は法規制対象化学物質を使用していない
- ◆ ここでいう法的規制対象化学物質とはP R T R対象物質のこと
- ◆ 弊社はP R T R対象物質そのもの及びP R T R対象物質を含有する製品を製造販売しているため、その削減目標は設定していない

環境への排出率の削減

◆ 基準年度：2023年

下段：基準年度比

	対象事業所	単位	基準年度 2023年	2024年度				2025年度	2026年度
				目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
環境への排出率の削減	神戸工場	%	1.90	1.90 100.0%	2.10 110.5%	90.5%	△	1.87 89.1%	1.85 88.2%
	千葉工場	%	0.00	0.00 #DIV/0!	-0.20 #DIV/0!	0.0%	×	-0.20 100.0%	-0.20 100.0%
	銭函製造所	%	—	—	—	—	—	—	—
	対象事業所合計	%	0.42	0.42 100.0%	0.43 102.4%	96.2%	△	0.41 95.3%	0.40 93.0%

- ◆ 銭函製造所（北海道営業所を含む）は法規制対象化学物質を使用していない
- ◆ 環境への法的規制対象化学物質排出率 = 製造ロス中のP R T R対象物質の量 ÷ P R T R対象物質使用量
- ◆ 達成状況：110%以上…◎ 100～110%…○ 100～85%…△ 85%以下…×

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

法的規制対象化学物質の適正管理 ・ 環境への排出率の削減
対象事業所の合計達成率：96.2% 達成状況：△ 千葉工場は大きく排出率を下げており、PRTR対象物質自体も大幅に減少しているため計測が困難になってきている。神戸工場は溶剤製品の製造量が減少しておりPRTR対象物質の使用量は減少している。引き続き法的規制物質の使用量を会社全体で削減する姿勢が必要である。

(5) 環境配慮製品の開発・販売促進

①取り組み計画

★：取り組んでいる事業所

取り組み計画	対象事業所					
	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店	神戸工場	千葉工場	北海道支店
製品に関する環境配慮				★	★	★
1. P R T R非該当溶剤の促進				★		
2. 環境配慮製品の出荷量増					★	
3. 環境配慮製品の販売促進						★

◆ 銭函製造所には北海道営業所の取り組み計画を含む

②達成状況と目標

◆ 基準年度：2023年

下段：基準年度比

	対象事業所	対象商品	単位	基準年度 2023年	2024年度				2025年度	2026年度
					目標	実績	目標達成率	達成状況	目標	目標
製品に関する環境配慮	神戸工場	RA溶剤	Kg	47,902	48,381 101.0%	34,124 71.2%	70.5%	×	48,860 143.2%	49,339 144.6%
	千葉工場	SEEDクリーナーGT NA環境希釈剤	Kg	489,986	504,686 103.0%	535,363 109.3%	106.1%	○	509,585 95.2%	514,485 96.1%
	銭函製造所	ネオコールR7	Kg	16,160	16,322 101.0%	15,200 94.1%	93.1%	△	15,341 100.9%	15,491 101.9%
	対象事業所 合計		Kg	554,048	569,389 102.8%	584,687 105.5%	102.7%	○	573,786 98.1%	579,315 99.1%

◆達成状況： 110%以上…◎ 100～110%…○ 100～85%…△ 85%以下…×

※事業所毎の達成状況は製販一体目標の為差し控える

③環境管理責任者の評価（結果と今後の方向）

製品に関する環境配慮
対象事業所の合計達成率：102.7%
達成状況：○
神戸：達成率70.5%既存ユーザーからの受注が減っているが12月より新製品の製造がスタートしており来年度は増加の期待大。千葉：達成率106.1%、引き続き営業部門と連動の上拡販に期待したい。
銭函：達成率93.1% 出荷時期のズレもあり未達成となったが新規案件も決まっており来年度は増加の期待大。
全事業所共、引き続き営業と工場が連携を取り、拡販に向けて動いていく。

■ 代表者による全体の評価と見直し

当社がE A 2 1を2008年に三国工場（2019年に神戸に移転、神戸工場となる）より取組を始めて15年目となる。千葉工場・銭函製造所（北海道支店）と製造部門より取組を拡大し、2013年より本社・東京本店・大阪支店・名古屋支店といった営業・事務部門へと広げ全社体制で取り組んでいる。2022年には本社・東京本店が日本橋から神田に移転し2024年には大阪支店が北浜から伏見町に移転した。2025年には名古屋支店が建て替え完了し営業を開始する。環境方針を基に取り組むべき項目を毎年周知徹底し活動が続けている結果、全社登録となった2014年度より燃料・廃棄物、水道等大幅に削減を達成できた。しかしながら長年の取り組み努力から下げ止まり感も出てきており、今後もより一層の知恵を絞り努力を継続していかなければならない。2024年はコロナ禍の影響もなくなり生産活動や営業活動が従来の状況に戻ったため、全社的に電力やガソリン等の使用量も増えてきている。但し、今まで継続してきたCO2排出量削減等環境に配慮した事業活動により、使用エネルギーの多くは原単位で見た時に最小限の増加に留めている事は評価できる。 ただ、今後、企業として当然に事業規模を拡大を目指す事が命題であり、その上でのバランスが重要であると考えており、ハード面の拡大により、目標設定そのものを精査する必要がある。 これからも創業者より代々伝えられてきたアルコールや化学薬品に懸ける思いを受け継ぎ、環境対応製品等の開発・製造に努め、そして、今後も安全対策をしっかりと行い、安心・安全な製品をお客様にお届けできる様、努めていきたい。
--

■ 環境関連法規制等の遵守状況

法的義務を受ける主な環境関連法規制は次の通りである。

■ 工場部門

遵守評価日：2025年1月31日

適用される法規制（一部については略称）	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	神戸工場	千葉工場	銭函製造所
下水道法	下水道排水	●		●
浄化槽法	浄化槽		●	
騒音規制法	送風機 (7.5kw)、 空気圧縮機 (11kw×2)	●		
	空気圧縮機 (18.8kw×1、15kw×1) 空調機 (9kw×2)		●	
	空気圧縮機 (7.5kw×1)			●
振動規制法	空気圧縮機 (18.8kw×1、15kw×1) 空調機 (9kw×2)		●	
	空気圧縮機 (7.5kw×1)			●
P R T R 法	第 1 種指定化学物質	●	●	
消防法	危険物製造所、危険物取扱所、危険物貯蔵所	●	●	●
労働安全衛生法	有機溶剤中毒予防規則に該当する有機溶剤	●	●	
	化学物質のリスクアセスメント	●	●	●
廃棄物処理法	一般廃棄物、産業廃棄物	●	●	●
工場立地法	千葉工場敷地面積：14,300 m ²		●	
毒物・劇物取締法	屋外貯蔵タンク、屋内貯蔵所・製造所、製造品目	●	●	●
悪臭防止法	指定物質	●	●	
高圧ガス保安法	ボンベ貯蔵所	●	●	
フロン排出抑制法	業務用エアコン等第一種特定製品	●	●	
環境の保全と創造に関する条例 （兵庫県条例）	溶剤充填設備	●		
	溶液混合設備			
千葉県VOC条例	有機溶剤		●	

銭函製造所は家庭用エアコン使用の為フロン排出抑制法適用外

■ 事務所部門

適用される法規制（一部については略称）	適用される事項（施設・物質・事業活動等）	本社・東京本店	大阪支店	名古屋支店
毒物及び劇物取締法	一般販売業の登録・更新	●	●	●
	毒物劇物取扱責任者の設置	●	●	●
	販売による書面の保管	●	●	●
家電リサイクル法	廃棄時の再商品化料金の支払い	●	●	●
	リサイクル証明書の保管	●	●	●
フロン排出抑制法	業務用エアコン等第一種特定製品		●	●

本社・東京本店はテナント物件の為フロン排出抑制法適用外

環境関連法規の違反はありませんでした。

関係当局より過去3年間にわたって違反や指摘はありませんでした。

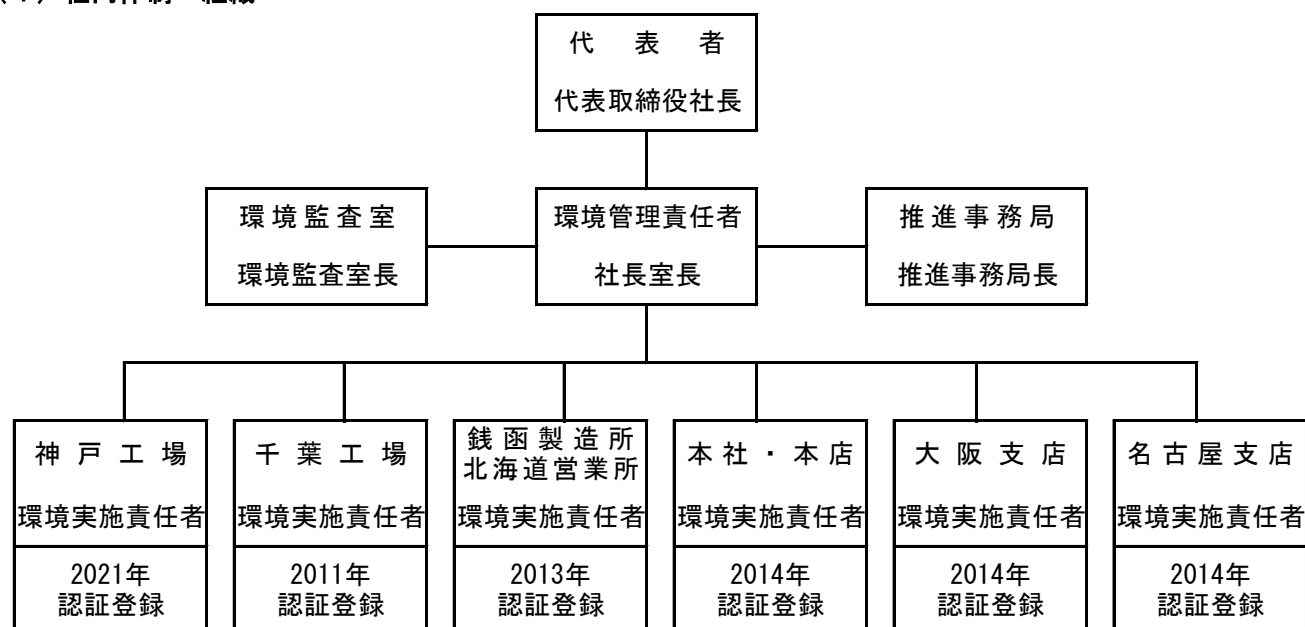
環境経営システム体制組織

制定日：2007年11月20日

改定日：2021年10月20日

環境管理責任者

(1) 社内体制・組織



(2) 役割・責任・権限

役割・責任・権限	
代表者	- 環境経営に関する統括責任 - 環境経営システムの実施に必要な、人、情報、設備、費用、時間、技能・技術者を用意 - 環境管理責任者を任命 - 環境経営方針の策定・見直し及び全従業員への周知 - 経営における課題とチャンスの明確化 - 環境経営目標・環境経営計画書の承認、環境経営レポートの承認
環境管理責任者	- 環境経営システムの構築、実施、管理 - 環境実施責任者、推進事務局長、環境監査室長を任命 - 環境関連法規等の取りまとめ表を承認 - 環境経営目標・環境経営計画書の確認、環境経営レポートの確認 - 環境経営活動の取り組み結果を代表者へ報告
推進事務局	- 環境管理責任者の補佐、EA21推進活動の事務局 - 環境経営活動の実績集計 - EA21地域事務局との対応窓口 - 環境関連の外部コミュニケーションの窓口 - 中間審査、更新審査の審査書類の取りまとめ - 環境経営レポートの作成、公開（事務所に備付けと地域事務局への送付）
環境監査室	- 環境経営システムのガイドライン要求事項への適合状況の確認 - 環境経営目標の達成状況、環境経営計画の実施状況の確認 - 監査計画の立案、通知、実施 - 監査結果を代表者、環境管理責任者、推進事務局、被監査者に報告 - 被監査者の是正処置、予防処置の確認、フォローアップ
環境実施責任者	- 事業所における環境経営システムの実施責任者 - 環境経営目標・環境経営計画書の作成 - 事業所における環境方針・目標・計画の周知 - 事業所に関連する環境経営計画の実施及び達成状況の報告 - 事業所における環境への負荷の自己チェック及び環境への取組の自己チェックの実施 - 事業所における「環境関連法規等取りまとめ表」の作成、順守評価の実施 - 特定された項目の手順書作成及び運用管理 - 事業所の特定された緊急事態への対応のための手順書作成とテスト、訓練、記録 - 事業所の教育訓練の計画・実施・記録 - 事業所の問題点の発見、是正・予防処置の策定
全従業員	- 環境方針の理解と環境への取り組みの重要性を自覚 - 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加